



# 東京浅草中央ロータリークラブ 週報

〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : https://www.asachu-rc.jp



奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

R.I. 会長 シェカール・メータ

地区ガバナー 若林 英博

## 2021 - 2022 年度テーマ

クラブテーマ 「レポート(再起動)」～新たなるロータリー 100年に向けて～  
クラブ会長 上野 雅宏

### 本日の例会(卓話)

クラブフォーラム「当クラブの財務体質について」

### 今後の例会(卓話) 予定

- 4 / 6 「コロナ禍による若年層の就業意識の変化と、企業が採用活動に必要な視点」  
アド・イーグル 専務取締役 大橋竜司 氏
- 4 / 13 「子ども食堂の支援から見える地域の孤立と生きづらさ」  
社会福祉法人 台東区社会福祉協議会コーディネーター担当係長 渡辺大輔 氏
- 4 / 20 「30分で分かる！結婚相談所の業界&最新お見合いサービス入門」  
結婚相談所ブライダルパートナーズ 代表 中島賢太郎 氏
- 4 / 27 祭日振替(昭和の日)



2022 年 3 月 30 日

第 1694 回例会

会長 上野 雅宏  
幹事 常見 英彦



### 4月結婚記念日

17日(14周年) 桜井ご夫妻 ・ 21日(45周年) 浜中ご夫妻  
26日(47周年) 海内ご夫妻 ・ 29日(38周年) 上野ご夫妻

## 前々回(3/9 1692 回例会)の記録

### 来訪者紹介

- ◆ゲスト 3名  
卓話者 池袋さくらクリニック 院長 倉田大輔 様  
元米山奨学生 アズ・リンダ 様  
株式会社啓文社 代表取締役 小淵浩史 様
- ◆ビジター 0名

### 出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
48名	2名	7名	36名		100%	

まん延防止等重点措置の解除に伴い、全員出席扱いは終了となりました。

### 会長挨拶<上野会長>

・ロシアの軍事侵攻によるウクライナの危機に対して地区より、というよりはロータリー財団から災害救援基金への寄付金の依頼が来ております。通常、災害に対する義援金寄付の場合、募金箱を回して集めたお金を合計して地区に送金し、地区では各クラブから送られてきたその様なお金を集計して一括して被災地に送る、という手続きを

行います。今行っているトンガの火山噴火による災害に対しての義援金寄付はこの手続きで行われております。

しかしロータリー財団では、深刻化するウクライナでの人道的危機への対応として、現在ロータリー地区が実施している救援活動を支える資金を、世界中のロータリー会員が直接寄付することのできる正式な窓口として災害救援基金を指定しました。そし

て4月30日まで災害救援基金への寄付を最優先としてロータリアンの皆様の寄付を呼び掛けております。この基金は、ウクライナ地区やウクライナと国境を接する地域のロータリアンが、難民に対する人道的支援に使えます。その他の地域のロータリアンも自分達の地域内へ逃げてきたウクライナ

難民を支援する活動に使えるようになります。この寄付は通常のR財団寄付と同様に会員氏名や金額を、災害救援基金を指定して登録しなければならないため、単に募金箱を回すだけ、というわけにはいかない面倒な部分がありますが、是非ともご協力をお願いします。

### 幹事報告<常見幹事>

- ①来週は移動例会となります。3クラブ合同例会が3月14日に行われますのでご出席の方は12時半までに上野精養軒にお越しください。SAA・親睦出席委員会の皆さんは11時半集合となりますので時間厳守をお願いいたします。ZOOM参加の方は時間になりましたら指定されたURLから入室してください。
- ②理事役員会の議事録にも記載した通り、

まん延防止等重点措置の延長に伴い、期間中の例会は全員出席扱いとなります。まん延防止等重点措置が解除された場合は全員出席扱いは終了となりますのでご承知ください。

- ③3月30日はクラブフォーラムとなります。「当クラブの財務体質について」というテーマで歴代幹事よりお話しさせていただきます。例会場は3F祥雲の間となりますので宜しくお願い致します。

### ニコニコボックス

#### <上野会長、常見幹事>

・池袋さくらクリニック 院長 倉田大輔様  
本日の卓話「一医師から見た海の事故とその対策」どうぞよろしくお願ひいたします。

#### <江連、藤掛、浜中、原田、五十嵐、伊藤、丸岡、宮村、宮崎、佐藤、澤野、内田、上原>

・「一医師から見た海の事故とその対策」  
池袋さくらクリニック院長 倉田大輔様、  
よろしくお願ひ致します。

#### <長沼、斎藤、立野>

・本日ゲストの株式会社啓文社代表取締役  
小淵浩史様、ようこそいらっしゃいました。

#### <原田>

・テロリスト・大嘘吐きのプーチンを許すな！

#### <古谷>

・ウクライナで多くの子供や老人が砲弾で命を落としていることに激しい怒りを感じます。  
ウクライナを心より応援しています。

#### <後上、片岡、太田>

・東北復興支援継続を！

#### <大塚>

・今日は私の誕生日です。お陰様で元気です。  
皆様のお陰です。

#### <立野、太田、本間、小林、岩戸、松本>

・アズ・リンダさんようこそ、お久しぶりです。



マレーシアに帰国するアズ・リンダさんを囲んで

## 「一医師から見た海の事故とその対策」



池袋さくらクリニック 院長

倉 田 大 輔 氏

「海の事故とその対策」を海上保安庁などの資料を基に一医師の立場で考察した。海の事故が発生すると溺水・低体温症・脱水症・熱中症・肺炎・外傷など人体に様々な影響を与える可能性があり、生命に危険を及ぼすこともある。慢性硬膜下血腫など受傷後数か月後に症状が発現するものもあり注意が必要である。海上保安庁や警察・消防など事故を扱う組織が異なる場合、事故件数などに差異が生じるため単純比較は出来ない。しかしながら『ライフジャケットの常時着用、飲酒後に遊泳しない、単独行動をせず複数行動をする、子供から目を離さない、遊泳可能な海水浴場以外の場所では遊泳しない、天候を考慮した行動をする』など事故予防策として提唱している共通点が多い。事故を防ぐためには複数の情報を横断的に考察することも重要である。

近年、遊泳中の事故者及び死者行方不明者は減少傾向であるが、これはレジャーとしての海水浴人口の減少も一因と考えられる。溺水事故の年齢層は10歳代と60歳以上が多い。さらに遊泳可能な海水浴場以外の場所すなわち安全管理が徹底されていない場所での溺水事故は全体の80%以上を占めている。

一方、海での釣り事故が増えており、複数行動に比べ単独行動での死亡率が高い。コロナ渦の影響で屋外レジャーである釣りを嗜む人が増えたことも一因と考えられる。「防波堤での釣り事故の割合が多く、ライフジャケットの着用率も低い」傾向もあり注意が必要である。

海の事故は危険を認識することや事前に予防策を講じることで避けられ得る「生命の危機」もある。日本におけるマリンレジャー関連産業の発展にとって事故防止に力を入れることは引き続き重要と考える。

### 3 クラブ合同例会

■東京浅草ロータリークラブ・東京上野ロータリークラブ・東京浅草中央ロータリークラブ

■3月14日(月) 12時30分～

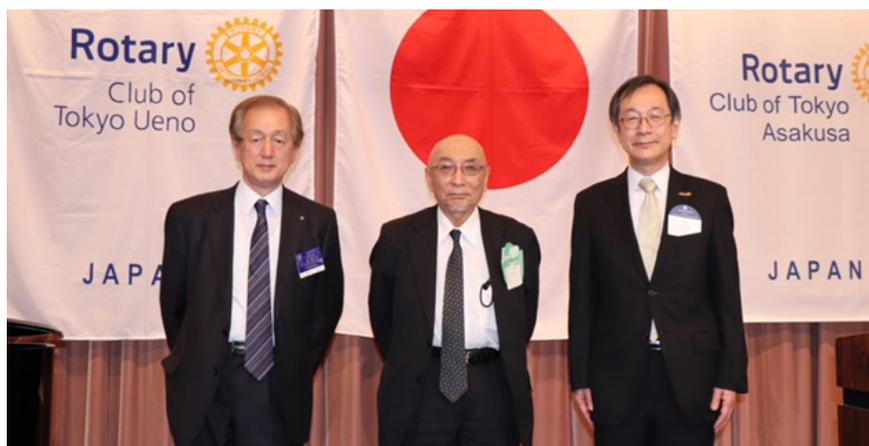
■上野精養軒



■卓話：「心で走る」

(公財) 日本陸上競技連盟ロードランニングコミッションリーダー  
DeNA アスレティックエリートアドバイザー

瀬古利彦氏



山本会長

百目鬼会長

上野会長

